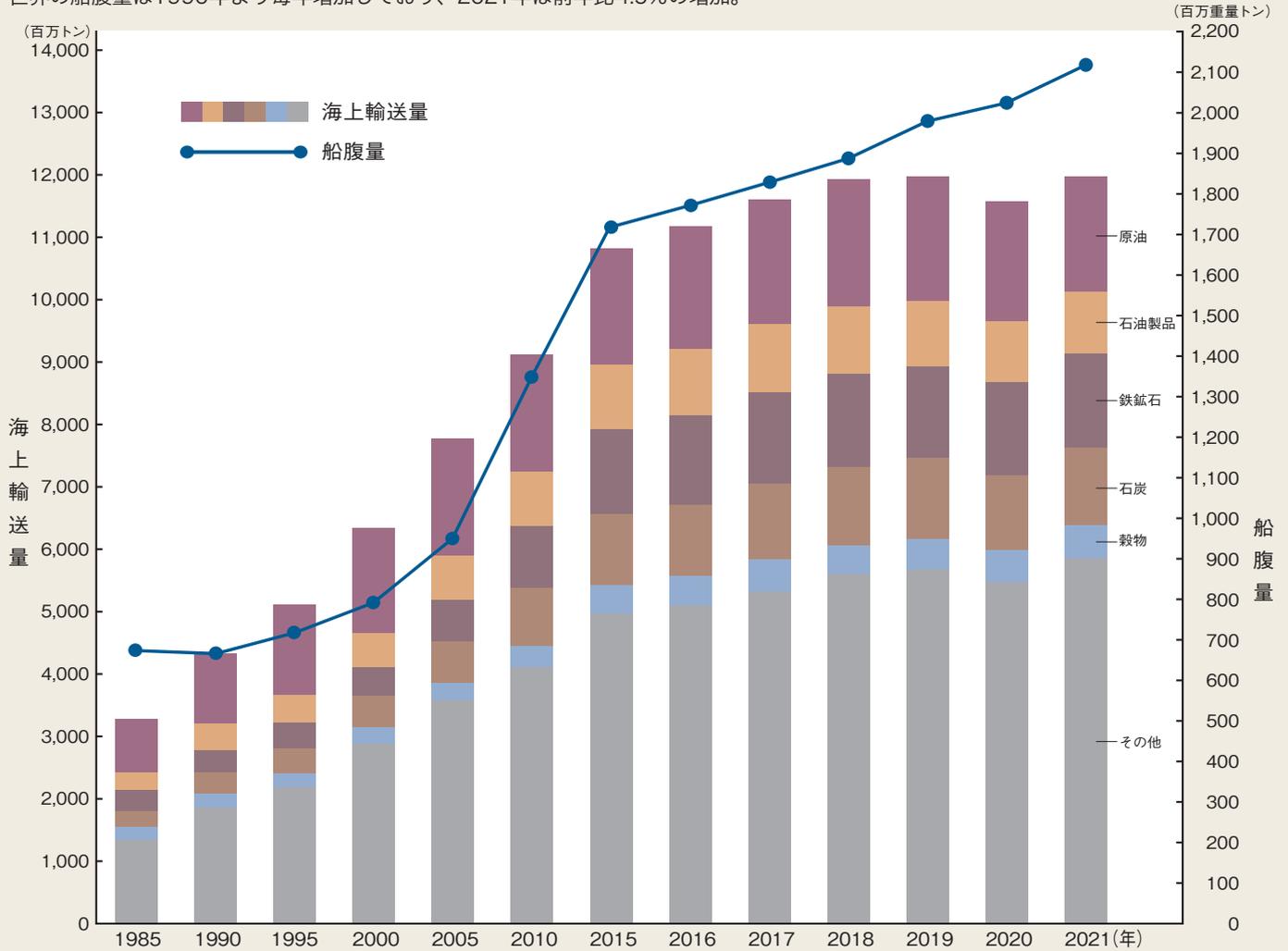


1 主要品目別海上輸送量と船腹量

世界の海上輸送量は、2020年に新型コロナウイルス感染症の影響等で減少したが、2021年は前年比3.3%の増加。
世界の船腹量は1990年より毎年増加しており、2021年は前年比4.5%の増加。



2021年において世界の主要品目別海上輸送量は、石油23.7%、鉄鉱石12.7%、石炭10.3%、穀物4.4%を占めている。
近年ではコンテナ貨物を含むその他貨物の割合が増加し、2021年では49.0%を占める。

出典：Clarksons [SHIPPING REVIEW DATABASE]、UNCTAD [REVIEW OF MARITIME TRANSPORT 2021]、IHS [WORLD FLEET STATISTICS]、Lloyd's Register of Shipping [STATISTICAL TABLES]、Fearnleys [REVIEW]

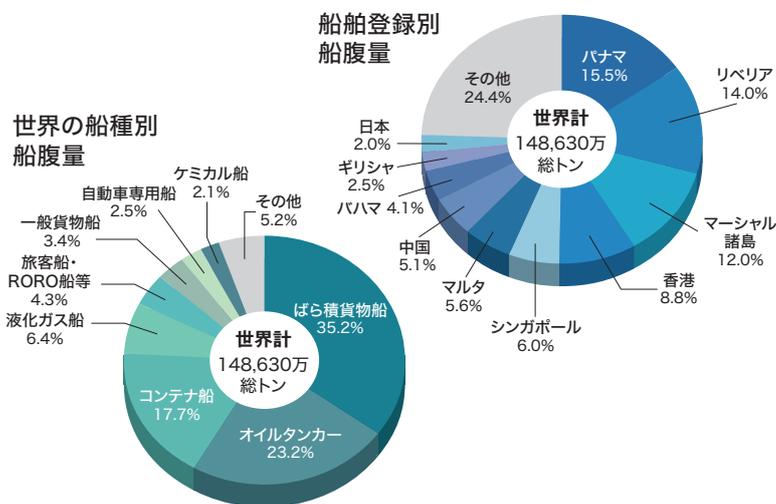
世界の主要品目別海上輸送量(百万トン)									船腹量(百万重量トン)	
年	品目	石油			鉄鉱石	石炭	穀物	その他		合計
		原油	石油製品	計						
1985		871	288	1,159	321	272	181	1,360	3,293	674
1990		1,133	415	1,548	356	331	195	1,855	4,285	667
1995		1,505	498	2,003	404	402	193	2,216	5,218	718
2000		1,745	586	2,332	447	509	230	2,902	6,420	792
2005		1,995	725	2,721	660	671	248	3,586	7,886	951
2010		1,917	913	2,829	990	926	319	4,122	9,186	1,349
2015		1,920	1,050	2,970	1,364	1,137	430	4,970	10,871	1,718
2016		1,985	1,107	3,092	1,418	1,141	450	5,093	11,194	1,772
2017		2,041	1,117	3,157	1,472	1,202	475	5,328	11,634	1,828
2018		2,060	1,126	3,186	1,475	1,264	474	5,559	11,958	1,883
2019		2,016	1,080	2,827	1,454	1,284	478	5,962	12,005	1,979
2020		1,868	958	2,826	1,502	1,165	512	5,593	11,598	2,025
2021		1,839	1,003	2,842	1,517	1,231	525	5,867	11,982	2,116

(注) ①海上輸送量について1985年はFearnleys [REVIEW] 各年版。 ②1990年までの船腹量については、Lloyd's Register of Shipping [STATISTICAL TABLES] 各年版による年央値であり、1995年以降はIHS [WORLD FLEET STATISTICS] による年末値である。 ③1995年以降の船腹量は、漁船等を除いた値である。 ④端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。 ⑤2021年以降の船腹量はUNCTAD [REVIEW OF MARITIME TRANSPORT 2021] による年末値である。

2 国別・船種別船腹量

世界の船舶登録国別船腹量はパナマ、リベリア、マーシャル諸島等が上位を占める。船種別では、ばら積貨物船、オイルタンカー、コンテナ船の順となっている。

出典：Clarksons Reserch [WORLD FLEET MONITOR]



船舶登録別船腹量

順位	国別	隻数	万総トン	国別保有割合(%)
	世界合計	102,882	148,630	100.0
1	パナマ	8,023	23,040	15.5
2	リベリア	4,310	20,740	14.0
3	マーシャル諸島	4,044	17,770	12.0
4	香港	2,661	13,120	8.8
5	シンガポール	3,229	8,900	6.0
6	マルタ	2,048	8,330	5.6
7	中国	7,336	7,520	5.1
8	バハマ	1,310	6,150	4.1
9	ギリシャ	1,234	3,650	2.5
10	日本	5,590	2,990	2.0
11	キプロス	1,030	2,260	1.5
12	デンマーク	613	2,280	1.5
13	インドネシア	11,012	2,110	1.4
14	ポルトガル	673	1,910	1.3
15	ノルウェー	696	1,700	1.1
16	イタリア	1,269	1,420	1.0
17	マン島	291	1,270	0.9
18	韓国	2,063	1,260	0.8
19	イラン	944	1,160	0.8
20	米国	3,637	1,090	0.7
	その他	40,869	19,970	13.4

(注) ①中国には、香港及び台湾を含まない。

②2021年末の数値。

③端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。

(注) ①2021年末の数値。

②端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。

世界の船種別船腹量

順位	船種別	万総トン	構成比(%)
	世界計	148,630	100.0
1	ばら積乾貨物	52,280	35.2
2	オイルタンカー	34,530	23.2
3	コンテナ船	26,330	17.7
4	液化ガス船	9,550	6.4
5	旅客船・RORO船等	6,330	4.3
6	一般貨物船	5,030	3.4
7	自動車専用船	3,770	2.5
8	ケミカル船	3,110	2.1
	その他	7,710	5.2

3 アジア各国の支配船腹量

アジア主要国の船会社が実質保有する船の船腹量が世界の44.6%を占め、そのうち、日本、中国の割合が51.5%を占める。

※日本の船会社が保有する日本籍船及び海外子会社が保有する外国籍船の合計。

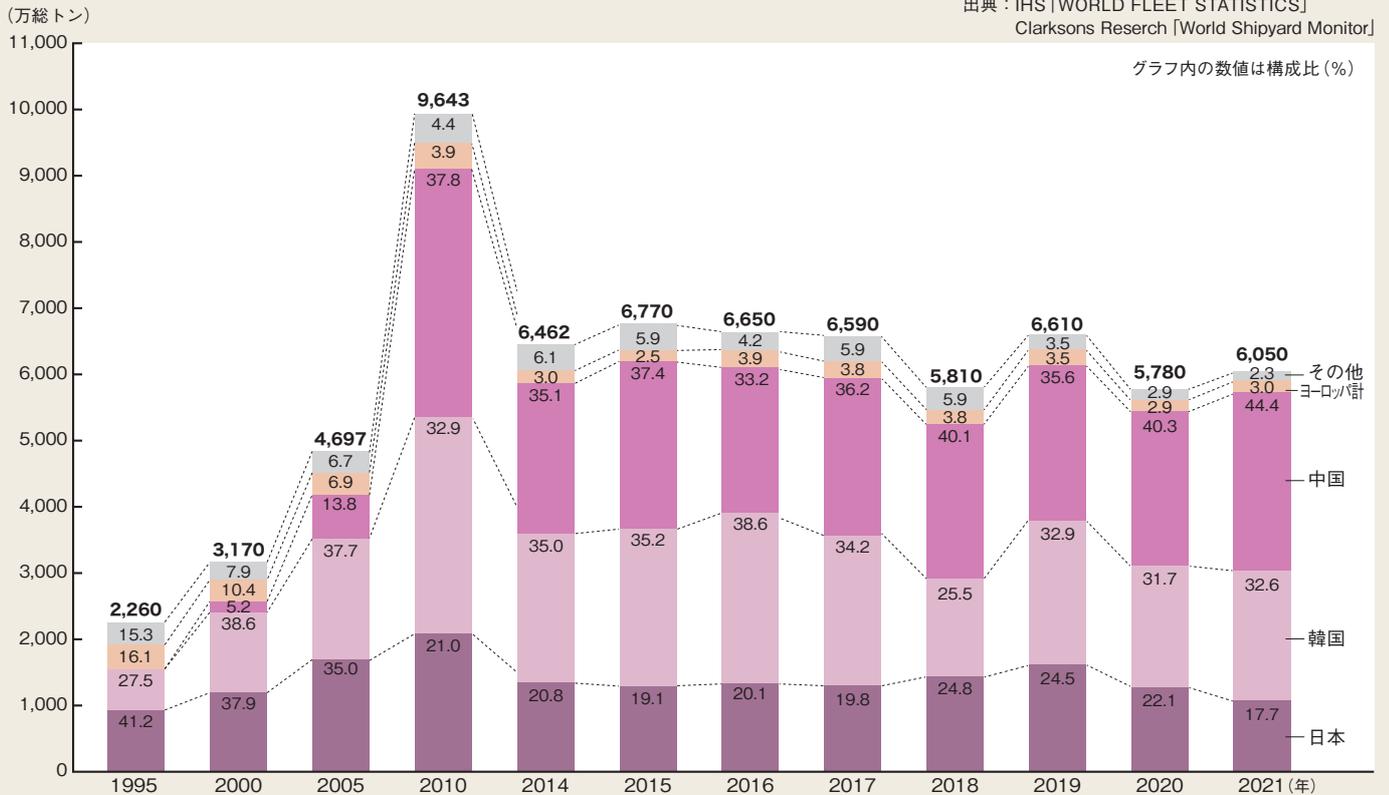
出典：UNCTAD [REVIEW OF MARITIME TRANSPORT 2021]

	隻数	船腹量(千載貨重量トン)			外国籍船割合(%)	世界シェア(%)	アジア主要国シェア(%)	
		自国籍船	外国籍船	合計				
アジア主要国	日本	4,029	35,107	206,741	241,848	85.48	11.4	51.5
	中国	7,318	105,657	138,898	244,556	56.80	11.6	
	韓国	1,641	15,097	70,996	86,093	82.46	4.1	48.5
	香港	1,764	72,367	31,852	104,219	30.56	4.9	
	シンガポール	2,843	73,258	65,806	139,064	47.32	6.6	
	台湾	1,014	6,998	46,285	53,283	86.87	2.5	
	マレーシア	619	6,588	2,159	8,747	24.68	0.4	
	インド	1,070	16,396	10,013	26,410	37.92	1.3	
	インドネシア	2,321	24,139	2,705	26,844	10.08	1.3	
	ベトナム	1,095	9,491	3,043	12,535	24.28	0.6	
	アジア主要国合計	23,714	365,098	578,498	943,599	61.31	44.6	
アジア主要国以外	30,259	215,813	956,992	1,172,802	81.60	55.4		
世界合計	53,973	580,911	1,535,490	2,116,401	72.55	100.0		

(注) ①2021年1月の数値。②対象船舶は1,000総トン以上の船舶である。端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。

4 商船建造量

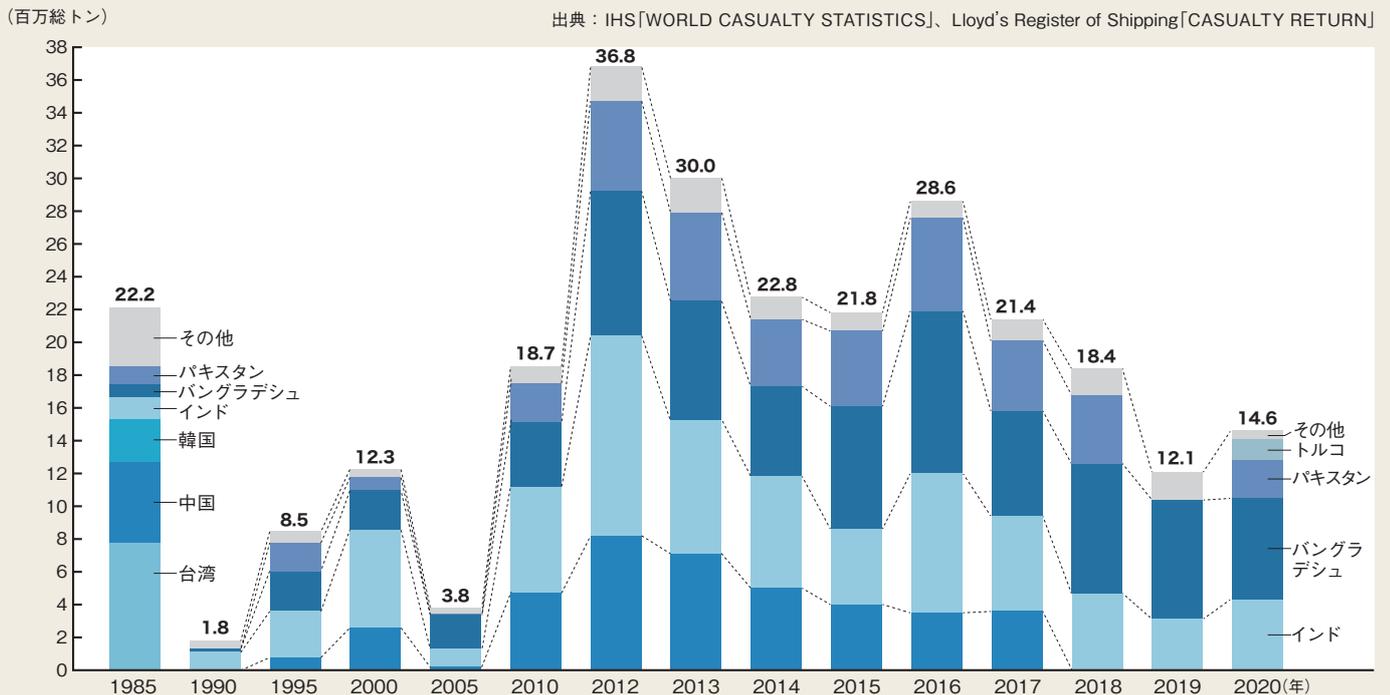
2021年の日本の商船建造量は1,070万総トン。日本と韓国、中国が世界の9割以上を占める三大造船国となっている。



- (注) ① ヨーロッパ内の主要造船国は、ルーマニア、ドイツ、イタリア、ノルウェー等。2014年はヨーロッパは34カ国で算出。
② その他に含まれる主要造船国は、台湾、インド等。
③ 1995年の中国建造量は、その他に含む。
④ 2015年以降はClarksons Reserch [World Shipyard Monitor] による年末値である。
⑤ 端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。

5 船舶解撤量

2020年の世界の船舶解撤量は1,462万総トン。国別では、インド、バングラデシュが多く、この2カ国で72%を占めている。



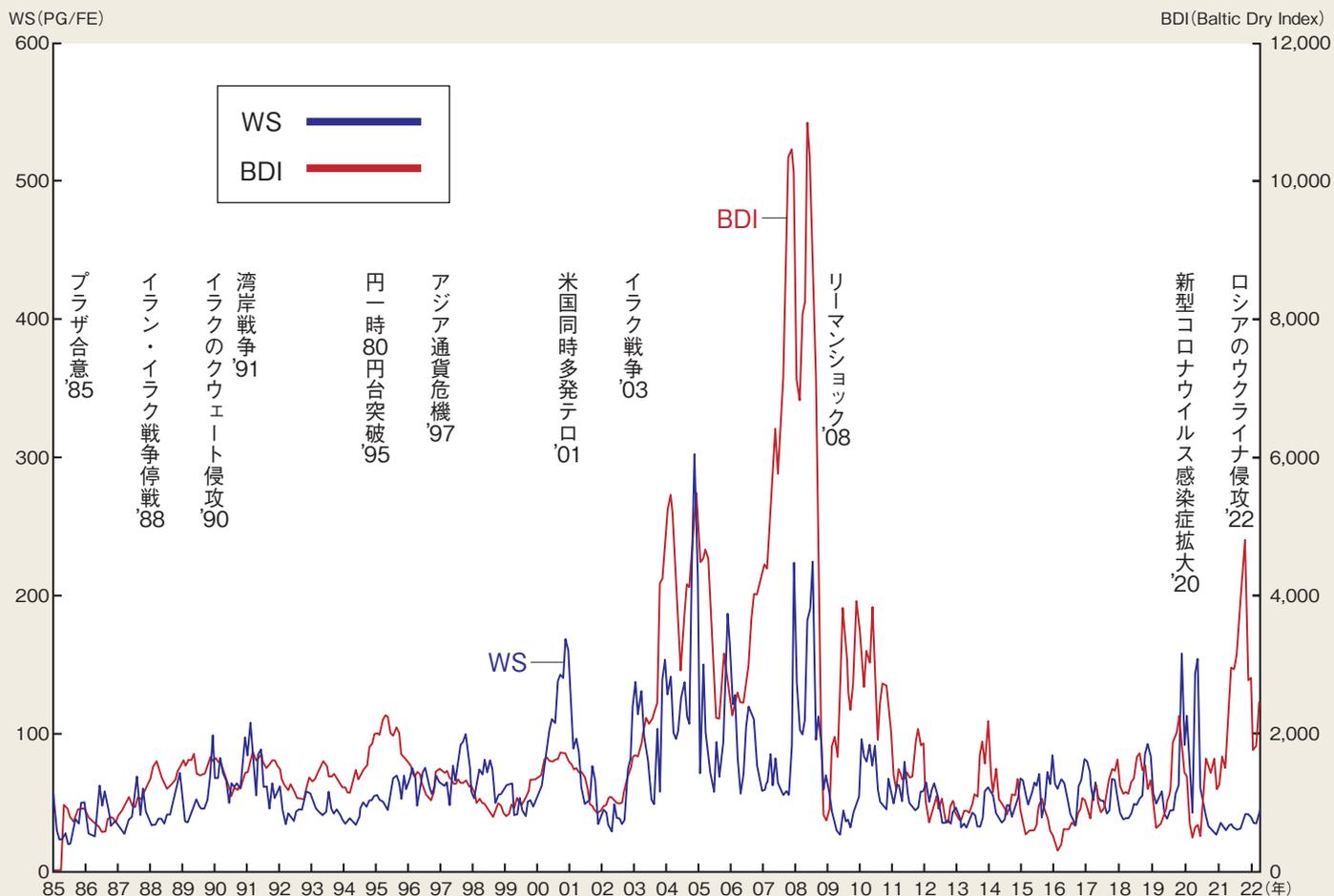
- (注) データについて[CASUALTY RETURN] 各年版(1993年以前)、「[WORLD CASUALTY STATISTICS] (1994年以降)の数値。

6 海運市況

2021年の不定期船市況は、新型コロナウイルス感染症による経済への影響がある中、上半期は輸送需要の増加で堅調に推移したが、下半期は天候不順による鉄鉱石や石炭の出荷減少の影響を受けて下落したものの、年間を通しては堅調に推移した。2020年のBDIの平均は1,056であったが、2021年は2,931と2倍以上も上昇した。特に9月は4,288、10月は4,820と上げ幅が大きかった。一方、前年に大きく下落したタンカー市況は、産油国の協調減産の影響で荷動きが伸び悩み、市況の低迷が続いている。

出典：TRAMP Data Service [WORLD MARITIME ANALYSIS]

作成：(公財)日本海事センター



(注) ①BDI (The Baltic Exchange) 及びWS (中東／極東) は、TRAMP Data Service集積資料による。

②BDI (Baltic Dry Index) : 乾貨物の海上輸送運賃指数 (総合指数、1985年1月を基準 (=1,000))

The Baltic Exchangeが毎営業日に、ドライマーケットの成約情報を1985年以来、一定の基準で継続発表している指数であり、乾貨物運賃の変動推移を示している。

③WS (World Scale Rate) はVLCC (24万D/W)、積地は中東、揚地は極東。